

YJセミナー開催のお知らせ

このたび、岐阜大学獣医のOB 2名をお招きしてセミナーを開催します。世界を相手に活躍される先生方の話を聞き、「**やりたいことを実現する**」ための推進力・やる気・気合い・執念を感じて欲しいと思います。**対象は全学年**です。

開催日時 2023年 **1月11日** (水) **13:00~14:30**

開催場所 対面及びZoom ※対面：応用生物科学部 31教室

専門性・部局を超えた協力による創薬研究の効率化 —創薬イノベーションエコシステムの日米比較—

平島 一輝 氏

岐阜大学 高等研究院 G-YLC 特任助教

One Medicineトランスレーショナルリサーチセンター革新的モダリティ創出部門

医薬品の研究開発において、基礎研究から効率的な実用化を目指すためには、アカデミア内（医学・薬学・獣医学）および製薬企業・規制当局を含む創薬エコシステム内において専門性や部局を超えた協力が必要不可欠である。今回、演者は米国マンスフィールド財団・米国創薬研究工業協会の指定研究者（第八期）に選定され、次に示す米国の創薬に関わる大学・創薬エコシステムの諸機関を訪問する機会を得た。

政策決定・規制当局（ホワイトハウス、FDA）、米国に基盤を置く製薬企業（AbbVie、Biogen、Takeda、Janssen）、学術研究機関（ハーバード大学、マサチューセッツ工科大学、ペンシルバニア大学、The Broad Institute、The Kock Institute、The Whitehead Institute）、患者団体（World Patients Alliance）

本セミナーでは、特に、1) 米国の大学内および創薬イノベーションエコシステム内における相互協力の効率化、2) 日本における創薬エコシステムとの差異、3) 米国における創薬研究トレンドなどに注目して、今回の米国の大学・創薬エコシステム訪問で演者が得た経験を共有したい。また、演者が岐阜大学において同定した抗がん薬の創薬シーズ（ペタシン）や、イヌ自然発生がんの非臨床モデルとしての応用を目指す研究を例として、演者のこれまでの経験を紹介したい。

獣医師として「公衆衛生」「バイオベンチャー」に挑む —グローバルにやりたい仕事を実現する生き方—

上利 尚大 氏

株式会社セツロテック 営業本部 PAGES事業部長

岐阜大学の獣医を卒業後（人獣共通感染症学研究室）、滋賀県公務員獣医師として5年間勤務後、退職。

一念発起して、京都大学、タイチユロンコン大学で公衆衛生学修士号を取得後、徳島大学発ベンチャー企業セツロテックにジョイン。ゲノム編集技術によって農畜産業、バイオマテリアル生産に革新を起こすべく、世界を舞台に事業開発責任者として日々奮闘している。

申込方法 ウェブ参加の方は、開催当日までにお申し込みください。（事前申込制）

https://zoom.us/webinar/register/WN_yDXIBv3tTA-3Yek9L-jK9g

対象 獣医学生が主な対象ですが、東海国立大学機構の学部生、大学院生、教職員であれば参加可能です。



問い合わせ：岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科獣医外科学研究室

（兼）One Medicineトランスレーショナルリサーチセンター（COMIT）動物医科学研究開発部門

准教授 宮脇 慎吾

電話：058-293-2969 E-mail: miyawaki@gifu-u.ac.jp

<主催> 岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科獣医外科学研究室

<共催> 高等研究院 One Medicineトランスレーショナルリサーチセンター（COMIT）

